

「沖縄タイムス（新聞）記事」のご紹介

校長 中村 成希

八洲学園大学国際高等学校（芸能スポーツクラス）に在学中の「稲嶺 瑠琳（いなみね るり）」さんのアーティスト活動の様子が、沖縄タイムス（令和5年6月6日）に載っておりましたのでご紹介します。【提供：沖縄タイムス社】

高校生、カフェのロゴ作成

八洲国際高3年の稲嶺さん

【名護】現役高校生アーティストの稲嶺瑠琳さん(17)は名護市で、同市我部祖河のカフェ「ミナト」が販売するフードのパッケージデザインを担当し、反響を呼んでいる。稲嶺さんの活動を支援しようと、同店の東邦英オーナー(36)と金城翔吉店長(36)は15日、売り上げの一部を寄付した。東さんと金城さんは「才能ある若者がもっと活躍できるように応援の輪が広がれば」と期待する。(北部報道部・玉城昌司)



アーティストの稲嶺瑠琳さん(左から2人目)のロゴを採択したコーヒーやシャツを持つミナトの金城翔吉店長(左)、東邦英オーナー(右)ら15日、名護市我部祖河

稲嶺さんは本郡の八洲学園大学国際高校の3年生。タブレット端末「iPad(アイパッド)」を使って細かく描き込んだ絵やポスターイベント、壁画などをさまざまなジャンルのアートを手がける。中学3年の春休みに描いた絵を家族が交流サイト(SNS)で販売して話題となり、そこから創作活動に没頭し始めた。

昨年は初となる個展も開催。クラウドファンディング(CF)で資金を集め、源礼品としてロゴや壁画の制作などを請け負った。

「ミナト」もCFに協力し、稲嶺さんがロゴデザインする上で、パッケージにはヤンバルクイナを採用した。沖縄らしく、「羽を大きく広げ、やんばるの良さを広く伝える」といった意味を込めた。

2月から構想を練り、3月に完成。用紙にヤンバルクイナの型を取った後、アイパッドに取り込んで、約4時間で描き上げたという。

稲嶺さんのロゴをパッケージに採用したフードは、これまで約300個売れ、売り上げは通常のサインの20%増し。今回の寄付は、その利益の一部を充てた。

「ミナト」の金城さんは「はつきりした夢を持っている稲嶺さんは輝いて見える。活動のために寄付を借用してほしい」と話した。

3日までの創作にも取り組みたいと話す稲嶺さんは「自分のデザインで売り上げが増えた聞いてとてもうれしい。寄付を使い、新しい作品に挑戦したい」と意気込んだ。

同店は今後も寄付を続ける予定。稲嶺さんがロゴをデザインしたフードは同店や許田、金城村の道の駅などで購入できる。税込みで100円700円、150円750円。

「ミナト」は名護市我部祖河208の1。午前11時～午後5時(土曜は正午から)。休日は水、木曜日。問い合わせは同店、電話090(1845)33333。

名護我部祖河 店は感謝 寄付金贈る